

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すまいる・ツリー		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 17日		～ 2024年 10月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年 9月 17日		～ 2024年 10月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が充実している	運動、音楽、おやつ作り、工作、避難訓練、買物練習、レクリエーションといった通常行う活動の他に、ハロウィン、クリスマス、節分といった季節の行事やお誕生日会、合同イベントといった活動を実施している。	季節の行事やイベントは継続していく。日々の活動については、利用者の成長発達に合わせた難易度や設定を考えて計画していく
2	地下に体育館がある	運動、音楽、レクリエーション等の集団活動では広い体育館を使った活動をすることが出来る。また、壁にはボルダリングもついているので、運動活動でも使用をしている。自由時間にはトランポリン・ブランコを出して子どもたちが十分に体を動かす事が出来ている。	広いスペースや遊具を利用者が安心安全に使用出来るように日々の点検を怠らないようにする。
3	高校卒業後の社会性が身に付く	中高生対象の放課後デイサービスという事もあり、身支度、係活動、報告等の経験を積むことが出来る。その日の自分の役割を始めの会で確認し、出来たら報告を行う事をルーティン化している。個別で視覚ツールの使用、職員のサポートを介しながら取り組んでいる。	係活動のやり忘れ、報告のし忘れがまだあるので、頻度を増やしながら取り組んでいく。職員の声掛けの回数が減るように見守りやサポートをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規利用児の受け入れが難しい	ありがたい事に多くの見学や新規申し込みの連絡を頂くが、定員いっぱいのお断りする事が多い。年度によって卒業する人数と新規利用児のバランスが合わず、希望者全員を受け入れる事が難しい。	新規利用希望者の方には見学及び待機登録をしてもらい、翌年度の空き状況に応じて順番に連絡をしていく。
2	施設のバリアフリーが少ない	エレベーター設備がない為、玄関から教室までの移動は階段が必須となる。手すりは付いているが昇降が大変な事がある。	階段の昇降時に個別でサポートが必要な利用者には職員がマンツーマンで付き、危険防止に務めている
3			